

令和7年度・処遇改善加算取得に伴う、見える化要件（グループホームあうん）

令和7年度中に、以下の区分ごとにそれぞれ2つ以上（生産性向上は3つ以上うち⑱は必須）該当する体制を整えます。

具体的な施策

入職促進に向けた取組	①法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	自社ホームページのスタッフ専用ページを活用し、法人の理念やケア方針を従業員全員に伝えます。
	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等に こだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	求人広告を通して、未経験者、中高年齢層、主婦など、幅広い層を採用します。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑦エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	週1回、サビ管による相談窓口を開設し、従業員の悩みをヒヤリングし、メンタルサポートを行います。
	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	2か月に1回、従業員によるKPTシートからの申し出に応じて、上長によるキャリアアップの面談を実施します。
両立支援・多様な働き方の推進	⑨子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児・介護休業等に関する規則を作成し、自社ホームページのスタッフ専用ページに掲載して、従業員に周知します。
	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	従業員の事情等を考慮して、勤務シフトを作成します。
腰痛を含む心身の健康管理	⑭業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	毎週1回、サビ管による相談窓口を開設し、悩みを聞いてほしい従業員の声をヒヤリングします。
	⑰事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	職員や職場内での事故やトラブルを想定したマニュアルを整備します。
	⑱現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している	2か月に1回、KPTシートによる課題の抽出と構造化ならびに、業務時間内に仕事を終わられているか調査します。

生産性向上 (業務改善及 び働く環境改 善)のための 取り組み	⑳業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている	業務マニュアル作成、情報を見やすくするための業務日誌の見直し、グループLINEでの情報共有を行います。
	㉓業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介助助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う	食事提供において外部会社の湯煎メニューを活用します。
やりがい・働 きがいの醸成	㉕ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	KPTで自己分析を促し、勤務内容やケア方法を改善します。 2か月に1回のKPT後に、職場環境をさらによくする案を出し合うことを議題に入れます。
	㉘支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	利用者やその家族からの感謝の声や手紙をスタッフ皆で共有する。